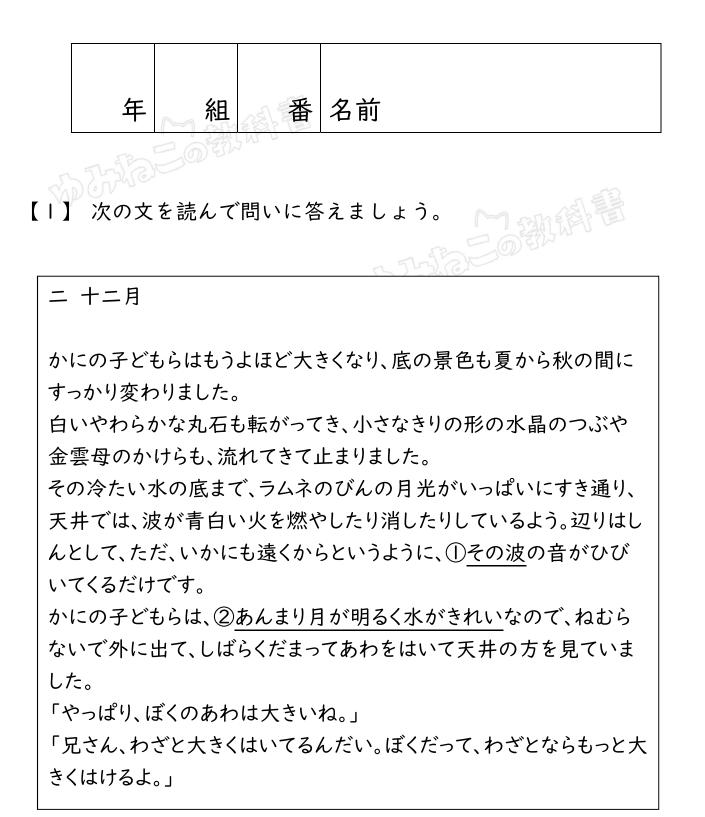
「やまなし」定期テスト対策練習問題②





「はいてごらん。おや、③<u>たったそれきりだろう</u>。いいかい、兄さんがは くから見ておいで。そら、ね、大きいだろう。」 「大きかないや、おんなじだい。」 「近くだから、自分のが大きく見えるんだよ。そんならいっしょにはいて みよう。いいかい、そら。」 「やっぱりぼくのほう、大きいよ。」 「本当かい。じゃ、も一つはくよ。」 「だめだい、そんなにのび上がっては。」 また、お父さんのかにが出てきました。 「もうねろねろ。おそいぞ。あしたイサドへ連れていかんぞ。」 「お父さん、ぼくたちのあわ、どっち大きいの。」 「それは兄さんのほうだろう。」 「そうじゃないよ。ぼくのほう、大きいんだよ。」 弟のかには泣きそうになりました。

問 | この場面はどのようなときを描いていますか。次の中から 正しいものを選び〇でかこみましょう。





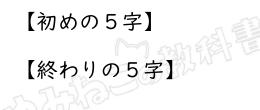
- 問2 この場面が問1のときであることがわかる言葉を、本文から ぬき出して2字で答えましょう。
- 問3 「ラムネのびん」から感じられる月光のイメージとして正しく ないものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア:さわやかなイメージ
イ:にごったイメージ
ウ:すきとおったイメージ
エ:すずやかなイメージ

- 問4 線①「その波」とはどんな波のことですか。「~ような波」 と続くように、本文の言葉をぬき出して答えましょう。
- 問5 かにの子どもらが外にいた理由はなんですか。「~だった から」と続くように本文の言葉をぬき出して | 4字で答えま しょう。



問6 線②「あんまり月が明るく水がきれい」とありますが、その ことを詳しく表現した部分を、本文からぬき出して初めの5字 と終わりの5字を答えましょう。



問7 線③「たったそれきりだろう」とありますが、これはどう いう意味ですか。次の中からもっとも正しいものを選び〇で かこみましょう。

ア:弟のかにが、もうあわをはけなくなったということ
 イ:大きくあわをはくくらい、かんたんだということ
 ウ:弟のはくあわは、自分のものよりも小さいということ
 エ:弟のはくあわの数が少なかったこと



問8 次のセリフは誰のものですか。それぞれ(A)弟のかに (B) 兄のかに(C) お父さんのかにから選びましょう。

ア:「やっぱり、ぼくのあわは大きいね。」 イ:「近くだから、自分のが大きく見えるんだよ…」 ウ:「だめだい、そんなにのび上がっては。」 エ:「それは兄さんのほうだろう。」 オ:「そうじゃないよ。ぼくのほう、大きいんだよ。」 W Colors 【ア】 【イ】

- 【工】 【オ】
- 問9 かにの子どもたちは、どこにいますか。本文の言葉を ぬき出して6字で答えましょう。 AL Constants Con



【2】 次の文を読んで問いに答えましょう。

そのとき、トブン。

①<u>黒い丸い大きなもの</u>が、天井から落ちてずうっとしずんで、また 上へ上っていきました。きらきらっと黄金のぶちが光りました。

「かわせみだ。」

子どもらのかには、②首をすくめて言いました。

お父さんのかには、③<u>遠眼鏡</u>のような両方の目をあらんかぎりのばして、よくよく見てから言いました。

「そうじゃない。あれはやまなしだ。流れていくぞ。ついていってみよう。 ああ、いいにおいだな。」

なるほど、そこらの月明かりの水の中は、やまなしのいいにおいでいっぱいでした。

三びきは、ぼかぼか流れていくやまなしの④後を追いました。

その横歩きと、底の黒い三つのかげ法師が、合わせて六つ、おどるようにして、やまなしの円いかげを追いました。

まもなく、水はサラサラ鳴り、天井の波はいよいよ青いほのおを上げ、 やまなしは横になって木の枝にひっかかって止まり、その上には、月光 のにじがもかもか集まりました。

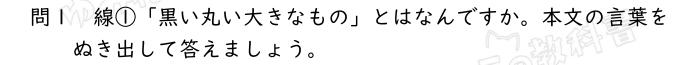
「どうだ、やっぱりやまなしだよ。よく熟している。いいにおいだろう。」「おいしそうだね、お父さん。」

「待て待て。もう二日ばかり待つとね、こいつは下へしずんでくる。 それから、ひとりでにおいしいお酒ができるから。さあ、もう帰って ねよう。おいで。」



親子のかには三びき、自分らの穴に帰っていきます。 波は、いよいよ青白いほのおをゆらゆらと上げました。それはまた、 金剛石の粉をはいているようでした。

私の幻灯は、これでおしまいであります。



問2 線②「首をすくめて」とありますが、このときのかにの 子どもらの気持ちとして正しいものを次の中から2つ選び ○でかこみましょう。

- ア:驚き
- イ:興味
- ウ:疑問エ:恐怖
- CAD OV
- 問3 線③「遠眼鏡」とは、誰の何をたとえた言葉ですか。本文の 言葉を使って説明しましょう。



- 問4 線④「後を追いました。」とありますが、このときのかに たちのわくわくした気持ちがあらわれている様子の言葉を本文 からぬき出して5字で答えましょう。
- 問5 (ア)やまなしが川に落ちた音と、(イ)川の水が流れる 音を表す言葉、(ウ)やまなしが川を流れていくようすを いなるこの教育書 それぞれ本文からぬき出して答えましょう。
 - 【ア】
 - 【イ】
 - 【ウ】
- 問6 波が月の光を反射してきらきらしている様子が表されている 一文を本文からぬき出して答えなさい。 WD Jost C. F.





「やまなし」

定期テスト対策練習問題②(解答)



問3 1

【解説】「正しくないもの」をえらぶので、ちゅうい しよう。「ラムネ」から、「さわやか」「すずやか」という イメージをうけるね。「びん」から、「すきとおった」 イメージをうけるね。けれど、「にごった」イメージは、 「ラムネ」からも「びん」からも感じることはできないね。

- 問4 青白い火を燃やしたり消したりしている(ような波)
- 問5 あんまり月が明るく水がきれい(だったから)



問6 【初めの5字】その冷たい 【終わりの5字】にすき通り 【解説】ぬき出す部分は「その冷たい水の底まで、ラムネの びんの月光がいっぱいにすき通り」



問7

ウィ

【解説】かにの子どもらは、「あわの大きさ」について話し ているので、エの「あわの数」について言っているのではな いことに注意しよう。

問8

- 【ア】 A
 【イ】 B
 【ウ】 A

 【エ】 C
 【オ】 A
- 問9 冷たい水の底
- 問10 つうと 【解説】「つうと」とは、物事が音も立てずになめらかに 進んでいくようすを表すことば。



【2】

問 やまなし

【解説】「かわせみ」と間違えないように注意しよう。

- 問2 ア・エ 【解説】「首をすくめる」とは驚いたり恐れいったりした ときに、思わず首をちぢめてしまうしぐさのこと。五月の ときに、お魚がかわせみに連れていかれてしまったときに、 かにの子どもらが怖がっていたことから、「驚き」と 「恐怖」が正しいことがわかる。
- 問3 (例)お父さんのかにの両方の目
- 問4 おどるよう 【解説】「様子の言葉」なので、「いいにおい」と間違え ないように注意しよう。かにたちがわくわくして追いかけて いる様子が「おどるよう」なのである。
- 問5 【ア】トブン 【イ】サラサラ 【ウ】ぼかぼか
- 問6 それはまた、金剛石の粉をはいているようでした。

